今夏の節電・省エネルギーの取組結果に関するアンケート結果集計

長野県市長会

○ 本調査は、本年6月に実施した「今夏の節電・省エネルギーの取組に関するアンケート」を基に、その後の実施状況についての集計したものです。 （H23・11・14 現在）

1 節電・省エネルギーに取組む新たな庁内組織・対策組織を設置したか。

■ 設置した:8市

2 市町村としての取組について（市町村が一事業者として率先的に取組む場合）

■ 取組んだ:19市

■ 節電・省エネ数値目標を設定した:11 市（内訳:△15%…9市、その他…2市）

■ 節電・省エネ目標の削減率（前年同月比）

・１９市の単純平均では、△１９．７９％

■ 対象庁舎について

・ほぼ全機関：６市、本庁舎・支所：１市、本庁舎中心：１２市

【取組み内容】

・不要な照明の消灯の徹底：１８市

・廊下、ホール等の照明の間引き：１８市

・高効率型蛍光管、LED 照明への交換：６市

・エアコンの設定温度の見直し：１４市（設定温度：２９℃以上：１１市、２８℃：３市）

・OA 機器の省エネモードの設定、長時間不要時の電源 OFF、プラグ抜き：１８市

・エレベーター・エスカレーターの一部を停止：１０市

・緑のカーテン、ブラインド、すだれ等の活用：１７市

・自動販売機内の蛍光灯の消灯：１１市

・デマンド監視装置導入：５市（岡谷市、飯田市、須坂市、中野市、茅野市）

・サマータイム制導入など勤務時間帯の変更：１市（岡谷市）

・ランチシフト（昼食休憩時間変更）実施：５市（長野市、上田市、岡谷市、中野市、茅野市）

・ノー残業デーの実施徹底：１７市

・夏季軽装のクールビズの期間拡大実施：１６市

【その他ユニークな取組例】

・市議会本会議の早朝開催（長野市）

・アスファルト屋根に段ボールの敷き詰めを行い、平均１℃押さえた。（小諸市）

・太陽光パネルを設置した。（飯山市）

・ノー残業デーと併せ、８月毎週水曜日「ライトダウン月間」の実施（塩尻市）

・スーパークールビズとして、震災復興支援Ｔシャツを着用し勤務した。（佐久市）

３ 市町村住民を巻き込んだ運動について

■ 取組を行った:14市

【実施概要】

・一定規模以上の企業等を個別訪問し、ピーク時節電への協力を要請

・節電に係わる出前講座の開催

・節電特集を広報誌、ホームページに掲載

・市民による「我が家の節電対策」を広報誌に掲載

・ライトダウンキャンペーンの実施

・全戸に節電取組事例チラシを配布

・各施設に啓発用ポスターを掲示

・家庭でできる殺電対策の講演会の開催

■ 市町村域における節電･省エネ目標を設定

・２市（諏訪市、佐久市）　△１５％を目標とした。

【取組み内容】

・不要な照明の消灯：１７市

・エアコンの設定温度の見直し：１７市（設定温度２８℃）

・テレビやOA機器の省エネモードの設定、不要時の電源OFF、プラグ抜き：１９市

・冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に変え、扉の開閉を減らす：１８市

・市民向けに緑のカーテンの種を配付：７市

・涼しい場所への外出：７市

【その他ユニークな取組例】

・わが家の節電自慢コンテスト、夏休み節電チャレンジ、ライトダウンキャンペーン、打ち水大作戦の実施（松本市）

・カーテン、よしずの利用のすすめ、アンペアダウンのすすめ（飯田市）

・あさがおバンク（Ｈ２０年度から開設）（小諸市）

・中部電力の社員による、市民を対象とした「電気の上手な使い方講座」の開催、出前講座の開催、ワットモニターの無料貸し出し（塩尻市）

■ 市民からの反響について

・環境に対する意識変化、早寝・早起きが習慣化した。（松本市）

・室内温度２９℃に対し、労働安全衛生法的に違反ではないかとの指摘あり。（上田市）

・緑のカーテン用の種の配布が、大好評であった。（須坂市）

・ワットモニターの貸し出しは、節電意識が高揚し評判もよかった。（塩尻市）

・電気の上手な使い方講座の反響が大きかった。（塩尻市）

４「さわやか信州省エネ大作戦　ピークカットチャレンジ」のPRについて

※「ピークカットチャレンジ」とは、6月22日から8月末日にかけて環境省が主催し行う「ライトダウンキャンペーン」中の特別実施日において、徹底的な節電を試みることです。
具体的には、6月22日（水・夏至）、7月7日（木・七夕）に加え、長野県独自の実施日、7月26日（火・梅雨明け後・夏休み前）において、昼3時間（13：00～16：00）、夜2時間（20：00～22：00）に実施。

■　住民向けのPRを行った：15市

■　ピークカットチャレンジの実施日に住民と共に行った節電の取組、イベントの実施

・４市（長野市、松本市、伊那市、大町市）で実施

【取組の概要】

・６月２２日から８月３１日をライトダウンキャンペーン期間とし、６月２２日、７月７日を統一行動日に設定。また、６月２２日を特別実施日とし、長野駅前でライトダウンコンサートを実施（長野市）

・キャンドルナイト、打ち水大作戦の実施（松本市）

■　市庁舎内の職員向けPRを実施：15市

■　ピークカットチャレンジ実施日に市庁舎で特に行った節電の取組の実施：13市

５　市町村教育委員会や小中学校等で行った節電等の取組があれば記載

【具体的な取組】

・グリーンカーテン（アサガオ・ゴーヤ等）の設置
・児童会環境委員会による節電の呼びかけ、見回りの実施
・エネルギー問題や地球温暖化についての学習会
・市庁舎とほぼ同様の取組を実施

６　市町村内の事業所において先進的な節電等の取組事例があれば記載

【具体的な取組】

・看板灯の消灯、ライトアップの中止
・空調機の一時停止
・温水水洗便座の温水及び温度設定停止
・パソコンのディスプレイの輝度５０％以下
・省電モードへの導入時間を１分に設定
・自動起動装置の使用
・緑のカーテンの設置
・ビニールシートでの間仕切りによる冷房の効率化
・ミスト（霧吹き）設備の設置
・蛍光灯のインバーター化
・ドリンクメーカーと共同で自動販売機の照明消灯
・土日の振り替え勤務

７ 今夏の節電対策の課題等ついて

【課題等】

・住民からエレベーターの停止や照明の消灯などについて、多くの苦情が寄せられた

・抜本的な節電対策を企画しようとしたが、経費の面から実施が困難であった

・ＬＥＤ照明導入を検討したが、種類が多すぎて選定する基準が決定できない。

・太陽光発電の導入を検討したが、情報が少なく、販売基準等も把握できない。

・来庁者及び職員から暑いとの苦情が多く寄せられた。（市民への配慮、事務能率の低下）

・ランチシフトについては、本格実施（７～９月）前の６月に試験施行を実施し、問題点を抽出して対策を講じたため、大きな混乱は発生しなかった。

８ 今後の節電の取組等について

【担当部署としての意見】

・今回の取組は、省エネ行動の更なる定着という点で、一つの契機になった。引き続き啓発に努めていく。

・節電評価をする場合、天候に左右されるため、正確な評価が難しい。

・デマンド監視装置について、価格がもっとリーズナブルなものになれば利用してみたい。

・今後については、省エネ法施策、温対法施策、代替エネルギーの推進等、環境・エネルギー政策

及び経済政策等との連携を図り、国を挙げて総合的に取り組む必要がある。

■ 冬期の節電対策について、特に対策を実施する予定の有無

・実施予定：１４市　　検討中：５市

【具体的な内容等】

・広報誌に「節電・省エネ」関連記事掲載。ホームページの活用

・ウォームビズの期間延長、冬の節電・省エネキャンペーンの実施、ノー残業デーの撤底

・暖房温度１９℃、暖房運転時間の短縮、厚着の励行、断熱材等の導入、防寒素材の導入